

私たちの役割

私の友人Kさんは精神疾患のために10年間向精神薬を服用していたが、ある日テレビで薬害の事を知り、薬に疑問を持ち断薬に踏み切った。2年程経つが今新たな症状に悩まされ、働くことが困難な状態にある。又ある知人は40年間精神科の治療を受け入退院を繰り返し、今でも向精神薬を服用中であるにもかかわらず、幻聴や幻覚に悩まされている。又「のむな 危険!」の著者である北野 慶さんは精神薬の被害者として、自分の人生でたった一つの後悔は向精神薬の罠にはめられてしまった事だと言っている。その他数人の人達からも同じ様な悩みの相談を受けている。

この様に今、心の病は精神科での治療では完治することが難しいとも思える。それはどうしてだろうか？ 私は常に疑問を持っていた。薬物による治療が病気を良くするどころかかえって症状を悪化するようにも思える。今、精神科医の間でもこういった問題を指摘する人たちがいる。心の病の原因はどこにあるのか？ 脳の機能障害という定義だけでは解決し得ない。

民俗学者の柳田国男は「心の病を持つ人の昔と今との著しい相違は実は本人に対する周囲の態度にある」とその著「山の人生」の中で述べている。人間が人間らしく生きるとはどういうことなのか・・・ひとり一人の個性を認めつつ、家族や社会や多様な文化の中で共存していく姿が問われている。そしてそれを原点として精神医療や社会福祉が考えられなければならない。その改善にむけて努力することは私たちの役割である。(赤野法行)

「こころの健康」～家族研修会のご案内～

こうやまクリニック院長 香山茂樹先生の講演会が「津山すこやか・こどもセンター」二階多目的室で13:30～15:30に行われます。会員の皆様多数ご参加下さい

定例会は2月6日13:30～16:00に変更します

トトロの家の新年会 1月16日

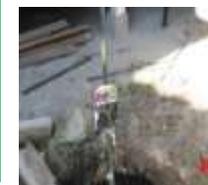
あけましておめでとうございます。恒例の1品持ち寄りの新年会では、あったかい豚汁、デザート、常備菜やチキンカツ、豆ごはんやお寿司、サンドイッチが並びました。もちろんビールもです。赤堀さんは、70年近い熟練の芸、舞踊をご披露してくださいました。けがや、病気を越えた凜とした舞に、とても感動を覚えました。4月には、文化センターで発表会があるとのことです。是非、皆さんで応援に行きましょう。午後から辻井さんも駆けつけてくださり、カラオケを皆さんで楽しみました。トトロの家は、皆さんが気楽に立ち寄り、それぞれが主人公となり生きがいを見出す、居場所にしていきたいと願っています。

今年は楽しい集いをたくさんしていきましょう。

(K. K)



トトロの家に果樹を植えました。
みかんと葡萄です。葡萄の種類は「巨峰」
です。みかんは早生みかんです。
2～3年後には実をつけるでしょうか？
葡萄の棚は日よけになるかな？
イチジクも春までには植えるつもりです。
(Y. C)



味噌作りのご協力をお願いします(1月の行事です)

1月 29日

準備

30日 12時集合

30キロ仕込みます